

2022年度 日本 ALS 協会福島県支部

講演会・相談会

◆日時：2022年7月9日（土） 午後1時30分～3時30分
*最終終了は午後4時を予定

◆場所：郡山市障害者福祉センター （郡山市香久池1丁目15-15）

◆プログラム

☆ 午後1時30分～ 講演会

*最新のALSの治療法・症状コントロール法から
病気との付き合い方と向き合い方まで
講師

国立病院機構新潟病院 院長 中島孝先生

NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会理事 川口有美子氏

*講演会講師の
プロフィールは
裏面をご覧ください

☆ 午後2時40分～ 難病、ALS なんでも相談セッション

* ご参加のみなさまからの質問に、2名の講師がお答えいたします。
事前にいただいた質問が優先となりますが、お時間の許す限り当日のご質問も
受け付けます。

◆ 参加費 無料

◆ 参加方法 会場参加とオンライン参加のどちらかをお選びいただけます。
*参加申込書、または以下のQRコードまたはサイトからお申込みください。
申込サイト→<https://alsfukushima202207.jimdofree.com/>

◆ 当日、会場にて最新の意思伝達装置「OriHime eye+Switch」
「Miyasuku EyeConSW」、「TC スキャン」、「eeyes」、「指伝話」
「ファイン・チャット」や、各種スイッチ類の展示・実演を
行います。



主催：日本 ALS 協会福島県支部

事務局 いわき自立生活センター内

電話 0246-68-8925 FAX 0246-68-8926

協力：NPO 法人 ICT 救助隊

*この講演会は、「福島県難病相談会・交流会開催支援事業」の補助を受けて開催されます。

講演会 講師プロフィール

◆ 中島 孝（なかじま たかし）先生

1958年生まれ。

独立行政法人国立病院機構新潟病院院長。
神経内科専門医。

H24年度から、厚生労働省難治性疾患等研究事業「希少性難治性疾患—神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット（HAL-HN01）に関する医師主導治験の実施研究班」の研究代表者として、ロボットスーツHAL研究の中心となって研究開発に携わる。

ALSや筋ジストロフィーなどの神経内科全般における専門医として精力的に活動中。



◆ 川口 有美子（かわぐち ゆみこ）氏

1962年生まれ。

NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会理事。
有限会社ケアサポートモモ代表取締役。

ALSに罹患した母親を12年間在宅介護し、その経験を書いた著書『逝かない身体』（医学書院刊）で、2010年6月第41回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。

国の政策立案に関わりつつ、ALS等の難病患者や重度障がい者の支援のため、全国各地を飛びまわる毎日を送っている。

また、ラジオ出演やテレビ取材への対応、執筆活動にも精力的に活動中である。（著書、共著多数。）



川口有美子さん＝長島一浩撮影



FAX送信用

FAX番号 0246-68-8926

日本ALS協会福島県支部事務局（いわき自立生活センター内）行き

2022年度講演会・相談会 参加申込書

参加者氏名・ 属性（該当に○） 支援職は職名も記載		患者 家族 遺族 支援職（ ）
参加者氏名・ 属性（該当に○） 支援職は職名も記載		患者 家族 遺族 支援職（ ）
住 所		
電 話 番 号		
メールアドレス （大文字、小文字、数字などわかるように記載してください）		
参加方法 （該当するほうに○）	Zoomでのオンライン参加	会場に来るリアル参加
講師への質問や いま困っていること など		